

福翁百話 (七十二)

決して其以上

人の能力には天賦遺傳の限界ありて決して其以上に上る可らず牛馬の如き其良否は二三歳のとさ既に識別するふと異しと云ふ人生も牛馬に異ならず彼の相撲の番付の末席に二年も三年も名を記されたる小男が關取に昇進は迹も望む可らず唯精神の體は無形にして身體の大小強弱を見るが如く幼少の時より其智愚を識別するふと易からざるが故に世間の人が勤もすれば教育に重きを置き人生學べば智なり學ばざれば愚なりとて智愚は唯教育の如何に存するふとしにて恰も人力を以て智者を製作せんと欲する者なきに非されど是れは大なる間違ひにて人の子の天賦に智愚の定度あるは馬の子の良否に約束あるが如く力士の昇進に際限あるが如くにして第も其遂す可さに迷したる上は毫も其以上に出るを得べからず古人の言に上智を下愚とは移らすと云ふと雖も移らざるもの豈上下に限らんや中智中愚幾百段の優劣は既に先天に定まりて決して動かす可らずものなり然らば則ち教ふるも益なし教へるほぞ大切な事はなしと云ふも可なり其次第を語らんに就くは書へば植木屋の仕事の如し庭の板も牡丹も其天賦のまゝに捨置くときは次第に枝振りを悪くして牡丹の花を紅白の註を失ひ時に或は蟲に害せられて枯れ滅び可き處を植木屋の手を以て枝を縛め根に培ひ四時の注意怠らざれば生氣充満して光澤流るしが如く之を他の野生のものに比較すれば色香の相違殆んど同種類の物とは思はれる程に至る可し左れば今人の子を其生れたるまゝにして體育智育德育共に注章する者なれば其子の天賦如何に拘らず唯周圍の風に吹かれ時としては智德の盛とも稱す可き惡習慣に慣れて心身の品格を失ひ概して畠野下等の匹夫匹婦たる可きに苟はざるを得ず故に教育の要は人生の本來に無きものを造りて之に授るに非ず唯有るものを悉皆發生せしめて遺すみとなきに在るのみ如何に巧なる植木屋にても草木の天性に拘はる武けを見事に成長せしむるのみにして其以上に至りては何等の工風もある可らず教育の事大切なりと雖も之に重きと觀くると其實に過るは天下の通病にして給る教師の工風を以て人物を飾治し出さんとぞ愚考なきは非ず畢竟人生の天賦遺傳に固き約束あると知らざる所なり

品の供給を辦するは勿論、その港内には必ず機関所を設置して艦艇の新造修理に差支なからしめざる可らず而して一旦交戦に陥し海上の戦もしも利あらずして艦隊を引揚ぐる場合には其港内に據り砲臺水雷等の防禦機關と協力して敵まで死守す可き肝要の場所なれば軍港と艦隊とは攻防共に離る可らざる關係を有して味方の爲めには最も大切なると同時に敵に於ても第一に自捕す所なる可し要港は海岸に於ける要害の地點にして若しも敵の爲めに占領せらるゝときは他に有力の足場を與へて容易ならざる恐あるが故に平素より其守備を嚴にして兼て我艦艇の爲めに需品の配給井に小修理を行ふ可き場所なれば其規模必要の程度は軍港の小さなものと見て差支なかる可し外國の例に倣するに英は英國の南東面に三個の軍港を設け全海岸を九海區に分て其軍港に分属せしめ又愛蘭の南岸にも一小軍港の設あり此は地中海に一鎮守府マンシユ海(英吉利海峡の方面)に四鎮守府を置き諸はバルチック海に一等軍港二個所、二等軍港二個所、等級未明軍港一個所を黒海南に一等軍港一個所、二等軍港二個所を置き伊は三鎮守府、獨は二鎮守府を置き諸はバルチック海に一等軍港二個所、二等軍港二個所を置き諸は愛蘭、蘇蘭の方面は敵國に就て鎮守府の設ある軍港の數と海岸線の距離とを比較するに英は一軍港に付き海岸線一千海里、佛は同様に半島もしくは全島國に於ては其地形上よりして軍港の管轄區域自から廣からざるを得ざるを見る可し所以のものは其西北両面即ち愛蘭、蘇蘭の方面は敵國に就ては世間に自から利害の説なきに非ず即ち一方に於ては我國に數個處の鎮守府を置き各軍港に鎮守府を置き又その海軍區内に軍港以外の要港を定め其要港には要港部を置いて鎮守府に屬せしめ以て各種の要務を全うするを期するものも如し軍港とは即ち横須賀、吳、佐世保、舞鶴、室蘭の五個所なれ共現に鎮守府の設あるは横須賀、吳、佐世保の三所にして舞鶴、室蘭は未だ着手に至らざる者なり而して右の海軍區の區劃、鎮守府の設置にては我海軍の現制を見るに全國の海岸海沿と五海軍區に區割し各海軍區に軍港を置き各軍港に鎮守府を置き又その海軍區内に軍港以外の要港を定め其要港には要港部を置いて鎮守府に屬せしめ以て各種の要務を全うするを期するものも如し軍港とは即ち横須賀、吳、佐世保、舞鶴、室蘭の五個所なれ共現に鎮守府の設あるは横須賀と謂止の説を唱へたるものもありたる次第なりしが又一方に於て之に對するの説を聞くに抑鎮守府の本務は軍師の軍備、艦艇の造修、兵備品の供給等を掌り軍港は艦隊の策御地として戰闘動力を補充維持するが爲めに必要ななり即ち鎮守府を置て軍港の防備を全うするは我艦隊に後盾の恩なく海上攻守の任務にして一時は佐世保鎮守府は、佐世保の三所にして舞鶴、室蘭は未だ着手に至らざる者なり而して右の海軍區の區劃、鎮守府の設置にては我國の如く海岸線の延長なる地形に於ては自ら之が要源地を各所に配置して緩急の機に應ずるの必要を認めたる事無く鎮守府の事とされ更に艦隊司令官の麾下に屬して艦隊を編成し以て攻防の任務に當るの順序なれば實際に勢力を分つべき念はある可らず且つ又軍港の防備は自から事と、固定の二種に分れて其移動防備は艦艇の

力に依るのみと無論なれども右の艦隊は大洋の運動に適せざる砲艦水雷艇の種類にして本來戰列に加へるゝの資格なきものなれば之が爲めに有力の軍艦を局地に拘束して艦隊の勢力を分離するものに非ずと云ふに在り蓋し鎮守府の爲めに軍艦の勢力を分つ云々の説は海軍從來の規模に比較して其數の多きに過ぐるを認めたるが爲めならんと雖も戰後の今日然に曰下海軍擴張の時機に際して我輩の希望の如く果して大計畫を實にするの覺悟ならんには五鎮守府制は我國の地形上そのその他各所要港の建設もれひ／＼着手するの必要を見ゆるふとならん但し擴張の實行に就て其緩急前後の別わざる可きは勿論にして其判断は深く當局者の性意を盡さるを得ず我輩は事の順序として聊か軍港要港の制に論及したるのみ

○東宮御參内 皇太子殿下は昨日午前九時御出門にて宮城に御参内兩陛下の御機嫌を伺ひ參らせ正午時前還御在らせられたりと

氏は御沙汰に依り昨二十一日福島縣下矢吹の御園場へ出張せりと

○臨時検疫部の閉鎖期　去る八月以來赤痢病院
防の爲め各縣下に臨時検疫部を設けたるが都合四箇
にして一縣に付き一箇月の經費二千圓内外を第二課備
金又は國庫剰餘金より支出したるが其第一回は八月二
十七日群馬新潟外十縣にして經費三箇月分を支出し第
二回は京都大阪外二十縣にて九月十六日に開始し經費
二箇月半分を支出し第三回は去月十五日東京長崎外五
縣に二箇月分の經費を支出し第四回は同月二十三日青
森縣に一箇月分の經費を支出したれば其早さは數日由
過ぎて來月十五日には閉鎖せらるべと
○乃木總督と官邸　臺灣總督府にては兼て總督

の官舎にて臺北府城内へ内地風二階建の邸宅を新築して已に落成したる由なるが今度起居したる新總督として本中將は之を一見して他の官僚一般が孰も不完全なる官舎に居住せるに吾獨り如何で斯る寛敞の大間に當するを得べきやとて敢て新官邸に入らず引籠き民政廳長官舎の一半に起居し居れりと云ふ

○ 漢洲の亞細亞人排斥 南漢洲の議會が亞細亞人の移住制限案を可決せる趣は前説の紙上に記載せりがニウーサウスウェールズの總理ライドは今日の如く亞細亞人と虐待すると甚だ不本意なる次第なれば必ず其移住を制限するのみ然る所しそ公言し其後ち有無人種の移住制限案と解する議案を草して漢洲開殖民地に廻送し總理の意見を問ひしに何れも賛成し又ニウーサウス ウエール議會の委員會も之と可決せりと云ふ